

第 101 号議案 公有水面埋立てに関する意見について  
(西琴平町)

目 次	ページ
1 埋立ての概要	1
2 位置図	1
3 埋立ての必要性	2
4 埋立ての効果	2
5 環境保全対策	2
6 海上保安部巡視船艇接岸場所の移転計画	3
7 計画図	4

まちづくり部

平成 30 年 9 月



# 公有水面埋立てについて(西琴平町)

## 1 埋立ての概要

(1) 施行者

長崎県

(2) 埋立地の位置

長崎市西琴平町

(3) 埋立期間

5年(平成35年初めの竣工を目標)

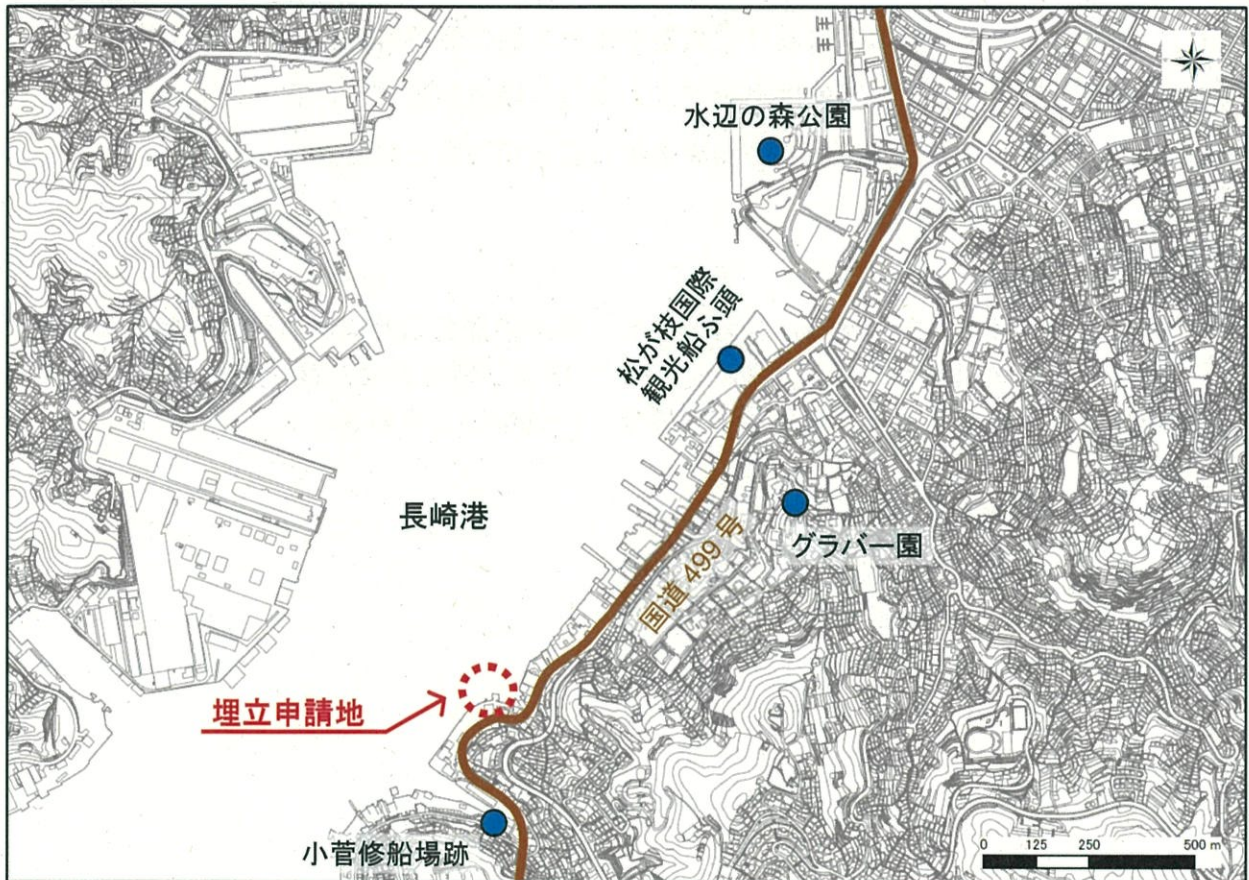
(4) 埋立面積

1,109.50 m<sup>2</sup>

(5) 用途

岸壁、護岸敷、道路敷、野積場(長崎海上保安部所属巡視船艇専用接岸場所)

## 2 位置図



### 3 埋立ての必要性

長崎港においては、クルーズ船の入港数の増加や大型化に対応するため、出島岸壁をクルーズ船利用に特化させることや松が枝国際観光船ふ頭における大型客船係留時の安全性向上のための延伸工事が進められている。さらには、同埠頭の2バース化が計画されている。

出島岸壁をクルーズ船利用に特化させるには、同岸壁を利用している巡視船艇1隻の移転が必要となるため、現在、西琴平町において、公有水面埋立ての手続きを経て、移転先となる専用岸壁の工事が進められている。

さらに、松が枝国際観光船ふ頭近くの船溜りに巡視船艇4隻の係留岸壁があるが、同埠頭の延伸工事の完了後は、大型のクルーズ船入港時に、巡視船艇1隻の出動に支障が生じることから、常時、安全で迅速な出動ができ、港口を見通しできる場所として、既に工事が進む西琴平町の埋立地の隣接地を2隻目の係留場所として選定し、埋立てを行うものである。

### 4 埋立ての効果

- (1) 松が枝国際観光船ふ頭における大型クルーズ船の係留時の安全性が向上する。
- (2) 巡視船艇が安全かつ迅速に出動できる専用の場所が確保できる。
- (3) 巡視船艇と他の民間船舶との接岸場所の調整が不要となる。

### 5 環境保全対策

本埋立てによる大気、水質、騒音及び自然環境の保全などに係る予測の結果、いずれにおいても影響は軽微な状況であり、安全対策及び環境保全対策を講じることにより、本埋立て計画の実施に伴う環境への影響は、問題ないと判断される。

## 6 海上保安部巡視船艇接岸場所の移転計画



巡視船艇の写真は、長崎海上保安部 HP より引用



7 計画図



① 現況写真 (平成 30 年 8 月撮影)

